



ボーイスカウト枚方第2団

2013年11月号

< VOL 313 >

発行責任者 井上 清文

かがり火

◆ 幸 せ の 条 件 ◆

団委員長 井 上 清 文

先日、何気なく以前に先輩の元校長先生から頂いた「心に残る『朝礼』120 撰集」のページをめくっていると、「幸せの条件」の文字が目に入ってきました。

ボーイスカウト活動も、「健康を築き、社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能、国際愛と人道主義を把握し実践できることを目的とし」とあり、言い換えれば、幸せな人生を送るための活動と言っている「幸せ」と同じなのか気になり読み出しました。

そこには、次のような文章が書いてありました。

《 人間は、だれでも幸せに生きたいと願って、日々を過ごしているのですが、最近では、ほんとうの幸せとはどんなことなのかわからない人が増えてきたのではないのでしょうか。オーストリアの心理学者アドラーによると、幸せの条件のひとつに身のまわりの人のために役に立つ人間であること、自分の知識や技術が役に立っていると思えること、と述べています。つまり、人に貢献しているという満足感を感じられる人は幸せだといっているのです。

昔は「幸せ」を「仕合せ」とも書きました。つまり、幸せとはお互いに仕え合うことであり、仕える喜びを知っている人のみが心の底から幸せを実感できるのです。人のためにつくし、その喜び顔、姿を見て「ああ、喜んでもらえてよかった」と心から感じられる人こそ幸せなのです。

人間が、この世を去っていくとき、どれだけ多くの富や物を手にしたかによって、幸せをはかるのではなく、どれだけ、多くのこととものを人さまに与えることができたかという充足感が感じられる人こそ、ほんとうに幸せな人生をまっとうしたといえるでしょう。 》

ボーイスカウトの創始者、ベーデン・パウエルがスカウトに宛てたラストメッセージにも

『幸せというものは、お金持ちになることや、仕事で成功することだけで、また、自分の思い通りにすることでなれるものでもありません。

幸せになるための第一歩は、子どもの間に健康で強い身体を作っておくことです。そうすれば、世の中の役に立つことができ、大人になったときに人生を楽しむことができるようになります。一略—

自分が手にしたものに満足し、最善を尽くすことです。物事の暗い面を見るのではなく、明るい面を見るようにしましょう。

しかし、幸せになる本当の道は他の人たちを幸せにすることです。』とあり、同じことが述べられています。

スカウトたちが、現在及び将来にかけて信頼に値する“より良き社会人”になり、家庭や学校、社会においても立派な国民として、世界に通じる国際人になるため、進級科目に一生懸命取り組み、色々な技能を身につけ進級していますが、これも進級することが目的ではなく、「他の人たちを幸せにする」、良き社会人になるための手段なのです。

「心に残る『朝礼』120 撰集」の「幸せの条件」の最後には、《お互いにこういう幸福感を味わえるようになれば、世の中はたいへん住みよくなることでしょう。》と、締めくくってありました。

団からのお知らせ

【 育成会総会が開催されました 】

平成25年度育成会総会が、10月20日午前10時よりメセナ枚方に於いて開催されました。委任状を含め、36名の会員と7名の参席指導者が出席のもと、すべての案件が可決承認されました。

その後、ボーイ隊の副長補、カブ隊のデンリーダーの任命や、ビーバー隊の入隊式が行われ、3名のビーバースカウトが仲間の前で、元気よく“やくそく”をたてました。

また、各隊の歌や研究の発表が行われた後、立食パーティが行われ、おいしい料理を頂きながら、指導者、保護者、スカウトが和やかに懇談し、育成会総会が無事終了しました。

【 お手伝いをお願いいたします 】

例年、枚方小学校で開催されている「枚小まつり」に、枚方2団は「木工工作」と「モンキーブリッジ」を設営し、お手伝いをしているのですが、毎年二つとも、楽しかったものの上位を占めています。

今年も枚方小学校、伊加賀小学校から依頼があり、「モンキーブリッジ」を設営するのですが、設営に少し人手が必要です。つきましては、お忙しいとは存じますが、時間の許す保護者の方々に、下記の通り、設営のお手伝いをお願いいたします。

尚、雨天時は中止いたしますが、不明の点は、高橋団委員長宛てお問い合わせください。

記

- ① 枚方小学校(第13回枚小まつり) 枚方市上之町9-21
日時 11月2日(土) 8:30 枚方小学校運動場
- ② 伊加賀小学校(いきいき広場 冬まつり)
日時 12月7日(土) 8:30 伊加賀小学校運動場

以上

団委員及び指導者への連絡

【 合同会議 】

日時：平成25年11月30日(土) 18:00～

場所：サンブラザ 5F 和室1



新 知 故 温 続

大阪スカウトクラブ発行「スカウティングの原点を探るシリーズ」より転載

<耳そばだてて 聴き正せ>

「スカウティング」誌巻頭言集

中 村 知

スカウティングは 深い森である

多彩な夏の行事も予定通りに実施されて風さわやかな新秋9月をここに迎える。

この夏、空路はるかにギリシャに使いして世界ジャンボリーに列し、B-Pの説いた国家的でもあり国際的でもあり世界的でもあるスカウティングを切実に学んだ者もあるし、一介の少年の身になって実修所に入所した人もいるし、隊の訓練や県大会で汗を流して少年たちに奉仕したものもある。みな、それぞれに、全力を尽し、この運動への忠誠に励まれたことは、まことに欣快にたえない。

けれども、よく考えてみると、われわれは、やればやるほど、スカウティングの奥行の深いことに気がつく。もうこれで森を抜けた—ということはありません。そして前人未踏の境地が無尽にあるように思う。一生をかけても探究しきれないとさえ考えられる。

そう考えると、10年ぐらい隊長をつとめても、実修所の1、2コースぐらいを修了しても、ウッドバッジをもらっても、それはほんの初歩というか入門というか、この深い森の、まだ入口でしかないのだということを自省して見る必要があろう。ジャンボリー参加も一つのスカウト経歴にはちがいないが、それも修行がたらないから海外へ学びに行ったことを思い出したら、かつてあったような天狗は出ないだろう。

すべてはスタートであって終点ではないことを、とくに確認すべきであろう。

せっかく、この、すばらしい森にはいる仲

間の1人になりながら、はいるとすぐ森の天狗になってしまつて、その後の進歩がとまってしまうようではハナはだ申しわけないのであるまいか。

アウトイング

スカウティング(SCOUTING)の6/8、すなわち3/4はアウトイング(OUTING) (戸外活動)だといわれる。まことに、うまいことばである。

今や、秋の季節、このうえもない絶好のシーズンである。カブたちはピクニック(野狩り)に笑顔をほころばせ、少年スカウトは追跡や忍び寄りや、ワイドゲームに夢中になるだろう。

近頃の指導者は、昔とくらべて野外活動がやりにくくなったことは事実である。近くによいキャンプ地はないし、ハイキングコースも郊外の相当はなれた地点まで出かけなければ得られない。場所の選定をあやまるならば、時として、心ない人たちのふるまいによって折角の環境をけがされ、逆効果のうき目さえまぬがれないときく。

このような状況だからアウトイングは控え目にした方がよい—と、もしも考える指導者があったとしたら、それはアウトだ。われわれは、困難を開し、勇気をもって活路を拓かなければならない。活路をひらくことがアウトイングではなからうか?

山は招き、野はほほえむ。モズは啼き空は澄んでいる。大自然がそこにある。

アウトイングを忘れたら、もう、パイオニアではない。

【11月各隊活動予定】

◇ ビーバー ◇

	11月10日(日)	11月24日(日)
タイトル	地区の合同隊集会	ファッションショー
時 間	8:50～14:00	9:00～12:00
集 合	枚方市駅ケーブルテレビ後	枚方市駅ケーブルテレビ後
場 所	山田池公園	牧野生涯学習市民センター

◇ カブ ◇

『テーマ: あったかご飯大盛り』 《目標: 力を合わせ、恵に感謝》

[主な活動: 料理対決]

	組 集 会	隊 集 会
1 組	11月10日(日) 詳細はDLより連絡	11月17日(日) 交野3団野営場 「料理対決」 詳細は別途
2 組	11月10日(日) 詳細はDLより連絡	

※ リーダー会議 11月9日 場所は後刻連絡

◇ ボーイ ◇

テーマ: 「観察眼を育てよう!!」 活動内容: ハイキング

活動目的: 地図とコンパス・観察

集会種別	16回日本ジャンボリー 解体キャンプ	隊 集 会	班長会議
日 程	11月3日(日)～4日(祭)	11月17日(日)	11月10日(日)
時 間		8:00～	9:00～
場 所	キャンプおおさか	木津方面	御殿山美術センター(予定)
備 考	10時 河内森駅集合	8時枚方市駅集合	

◇ ベンチャー

11月9日(土)～10日(日)	11月23日(土)～24日(日)
VSオーバーナイトハイク	地区ベンチャーキャンプ(予定)
	交野3団キャンプ場